

中部ものづくり シンポジウム2008

～ものづくりの世界で生き残るために～

本シンポジウムは、国が支援した研究開発の成功事例を紹介することにより、ものづくりに取り組む中小企業の気づきの場となり、今後のものづくりの発展に寄与することを目的として開催します。

PROGRAM

4階・鳳凰の間(北)

- 13:00～13:10 主催者等挨拶
- 13:10～14:10 講演①「未来を見据えたものづくり」
西村 晃 氏／経済評論家
- 14:20～14:50 講演②「戦略的基盤技術高度化支援事業成功事例発表」
加藤 昌一 氏／(株)野口製作所・代表取締役
- 14:50～15:10 休憩
- 15:10～16:40 パネルディスカッション



「～ものづくりの世界で生き残るために～中小企業のあるべき姿とは？」

●コーディネーター
三神 万里子 氏
ジャーナリスト、キャスター
信州大学経営大学院客員准教授



●パネリスト
杉 光 氏／(株)デンソー・専務取締役
伊藤 澄夫 氏／(株)伊藤製作所・代表取締役
前田 貞夫 氏／(株)前田シェルサービス・代表取締役会長
弘中 史子 氏／滋賀大学経済学部企業経営学学科マネジメント・ポリシー准教授

4階・梓の間

- 15:00～17:00 戦略的基盤技術高度化支援事業採択プロジェクトのパネル展示
- 17:00～18:00 名刺交換会(来場者の交流会)

※戦略的基盤技術高度化支援事業採択プロジェクトのミニプレゼンも実施します

主催：(独)中小企業基盤整備機構 中部支部
後援：中部経済産業局、愛知県、岐阜県、三重県、(独)産業技術総合研究所中部センター
(財)あいち産業振興機構、(財)岐阜県産業経済振興センター
(財)三重県産業支援センター、(財)中部科学技術センター

日時

2008年12月10日(水)
13:00～18:00(12:30開場)

会場

キャッスルプラザ・4階
名古屋市中村区名駅 4-3-25 (JR 名古屋駅より徒歩5分)

入場無料 | 定員:150名 裏面の「参加申込書」にてお申込みください

ACCESS



お申し込み・お問い合わせ先：
「中部ものづくりシンポジウム2008」事務局 [(株)スイッチ内]
〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-19-19
Tel:052-201-6627 Fax:052-201-6624

中部ものづくりシンポジウム2008

～ものづくりの世界で生き残るために～

PROFILE ※敬称略

西村 晃
経済評論家

早稲田大学卒業後、NHKアナウンサー、テレビ東京解説委員を経て、1996年に独立。経済評論家・キャスターとしてテレビ・ラジオ出演や執筆、講演活動などを幅広く行っている。マーケティングの第一人者としての評価は高く、著作は80冊以上、講演数は通算3000回を数える。また、全国から経営者が集う独自のセミナーを5本主宰している。

加藤 昌一
(株)野口製作所・代表取締役

東京大学大学院工学系修了。三菱金属(株)(現 三菱マテリアル株式会社)を経て、2006年7月、(株)野口製作所副社長に就任。翌年4月同社社長就任、現在に至る。

三神 万里子
ジャーナリスト、キャスター
信州大学経営大学院・客員准教授

慶應義塾大学卒。日米の経済誌等で執筆。国内誌論考はフォーリンプレスセンター国内論調代表論文選出、米誌執筆論考は世界銀行政策研究誌参考文献。NHK、民放で経済番組キャスター。経済産業省、地方自治体でもものづくり、中小企業活性化、経済政策分野の委員を務める。著書多数。日本文芸家協会会員。

杉 光
(株)デンソー・専務取締役

伊藤 澄夫
(株)伊藤製作所・代表取締役

1986年、(株)伊藤製作所社長に就任。(社)日本金型工業会・副会長・国際委員長・中部支部長、中京大学大学院ビジネスイノベーション研究科 客員教授、国立ソウル産業大学校金型設計科 名誉教授など、多くの公職も務める。著書に『モノづくりこそニッポンの砦』工業調査会(2004年)がある。

前田 貞夫
(株)前田シェルサービス
代表取締役会長

1965年、岡崎市にて「前田シェルサービス」を創業。その後相次いで、「前田技研(旧前田金型製造所)」「前田精密工業所」を創立。1968年、前田技研を皮切りに次々に代表取締役社長に就任。2008年1月、各社の代表取締役会長に就任。現在に至る。

弘中 史子
滋賀大学経済学部企業経営学科
マネジメント・ポリシー・准教授

名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。1997年より滋賀大学経済学部(現在、准教授)。専門は中小企業論。最近の主な著作として『中小企業の技術マネジメント』中央経済社(2007年)、『コミュニティ・ラーニングー組織学習論の新展開(共著)』ナカニシヤ出版(2008年)等がある。

参加申込書 お手数ですが下記項目をご記入の上、FAXください。

会社名 団体名	
住所	(〒 -)

氏名	所属部署	役職名	TEL	FAX

※ご記入いただいた個人情報、主催者においてシンポジウム開催に関わる事務処理、主催者のセミナー、各種支援施策案内のため以外には使用いたしません。

また、承諾なく第三者に提供することはありません。

※氏名欄が不足した場合は、コピーをとってご記入ください。

※お申し込み後、参加証等の発送はございません。本紙をご持参の上、受付にてご提出ください。

※定員を超えた場合のみ、事務局よりご連絡をさせていただきます。

Fax:052-201-6624

<申込期限:12月8日(月)>